

宇宙開発計画の見直しに関する審議について(案)

昭和47年 月 日

宇宙開発委員会

宇宙開発委員会は、昭和47年4月5日付け「宇宙開発計画の見直しについて」に基づき、昭和45年度に策定した宇宙開発計画(以下「計画」という)に関する

研究開発の進捗状況および関係各機関の要望事項について調査してきたが、
今後は、下記により審議を行ない、計画の変更の必要性を明らかにし、必要に

応じ計画に修正を加えることとする。

記

1. 審議事項

主として次の諸点について検討し、必要に応じ計画修正案を作成する。

(1) 科学衛星の開発計画

(2) 気象衛星、通信衛星、放送衛星および測地衛星の研究段階から開発段階への移行問題

(3) 航行衛星の研究計画

(4) 計画に新たに取り入れらるべき人工衛星およびロケット

(5) 新=

(5) ミロケットの開発計画

(6) 国際協力の進め方 <(6) ロケットの計画?

(7)

2. 審議方法

(1) 1の審議は、計画部会および技術部会において、それぞれの所掌に応じて行なう。

(2) 1の審議は、昭和47年8月下旬に終えることを目途とする。

宇宙開発計画見直しの対処方針（部内限）

1. 基本的考え方

(1) 従来の「科学紅星および」通信、放送、電離層観測、気象観測、航行援助、測地資源探査等の実用紅星の必要性および経済性を検討のうち、その開発も必要に応じ逐次

具体化するとともに、これらの人工紅星を打ち上げるロケットについても開発を進める。という考え方は変更しないが、開発にあたっては、技術導入等の手段も活用し、自主技術の育成と

図る。ことに加え、国際的要望等を勘案し、必要に応じ国際共同計画への参加協力ありいはこの推進をあれせ積極的に進めることとする。

国際共同計画への参加等の場合においても、これに必要な紅星の打ち上げ用ロケットについては、原則として、我が国のロケットを用いることとするが、当該計画の実施時期等を

勘案し、我が国のロケットが使用できたり、あるいは使用が適切でたり等の場合には、外国のロケットを活用することとする。

(2) 従来、研究が行われてきた各種実用紅星のうちから、研究の進捗状況、利用材肉の要望等を勘案し、昭和50年代に打ち上げることと目標とする紅星を明確にし、さしあたりこの実現に必要な試験研究を進めることとする。

2. 人工紅星関係

(1) 科学紅星

昭和48年度に M-3C-1 号機により 試験紅星を打ち上げ、49号以降の科学紅星の打ち上げ時期も1年づつ繰り下げる。

(2) 気象紅星

GARPへの参加協力テーマとして、アジア諸国との協力のもとに昭和51年度(あるいは52年度)に静止軌道に打ち上げることと目標に開発を行なう。

打ち上げは米国に依頼する。

(3) 通信、放送、測地の各衛星

できるかぎり 打ち上げ時期等を明確にして、これを目標に開発を行なうこととし、
所要の研究を進める。

(4) 応用技術衛星

必要性、ETS-ISSとの関連等を検討し、これが明確にできれば、
昭和50年代に打ち上げることと目標に開発を行なうこととし、所要の
研究を進める。

(5) 航行衛星

国際共同計画が実現すれば、これに参加協力することとし、所要の研究を進める。

(6) 資源衛星

引き続き、現行計画を進める。

3. ロケット関係

(1) Mロケット

Mロケットの改良は、当面、3段ロケット(M-3C)で進めることとし、SITVC技術の信頼性
を得たうえで、これを4段ロケット(M-4SH, M-4SS)に活用し、Mロケットの性能向上等を図る。

(2) Nロケット

開発の進捗は、順調であり、引き続き現行計画を進める。

(3) N-改ロケット

Nロケットの改良方策について、早急に調査検討するとともに、このための
研究に着手する。

計画部会および技術部会の審議の進め方について

1. 審議事項

本委員会の付託に基づき、技術部会において、当面、気象衛星の開発に
関する技術的事項およびMロケットの開発計画について審議し、計画部会において

は、当面、技術部会の審議事項を除く事項について審議し、技術部会の
審議結果を得たうえで、これを踏まえ、所定の計画修正案を作成する。

2. 審議日程

会 合	期 日	主 な 議 題
計 画 部 会	7/28	○ 科学衛星の開発計画について ○ 気象衛星の開発について
技術部会中=分科会	31	○ 気象衛星の開発について
技術部会中=分科会	8/2	○ Mロケットの開発計画について
計画・技術合同部会	9	○ Mロケットの開発計画について ○ 気象衛星の開発について
計 画 部 会	15	○ 通信、放送、測地の各衛星の開発について
計 画 部 会	18	○ 航行衛星等の研究計画について ○ 国際協力の進め方について
計 画 部 会	23	○ 計画修正案の作成